



平成23年1月期 第1四半期決算短信

平成22年6月11日

上場会社名 株式会社丹青社

コード番号 9743 URL <http://www.tanseisha.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 青田 嘉光

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員

(氏名) 鈴木 清明

TEL 03-3836-7282

四半期報告書提出予定日 平成22年6月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年1月期第1四半期の連結業績(平成22年2月1日～平成22年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年1月期第1四半期	15,438	△0.2	849	167.2	823	145.9	766	662.1
22年1月期第1四半期	15,475	—	317	—	334	—	100	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年1月期第1四半期	30.99	—
22年1月期第1四半期	4.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年1月期第1四半期	31,178	9,488	30.4	383.48
22年1月期	27,015	8,588	31.8	347.11

(参考) 自己資本 23年1月期第1四半期 9,485百万円 22年1月期 8,586百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年1月期	—	—	—	—	—
23年1月期 (予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

期末の配当予想額は未定です。

3. 平成23年1月期の連結業績予想(平成22年2月1日～平成23年1月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	24,500	△1.4	380	—	380	—	205	—	8.29
通期	48,500	△2.5	830	—	850	—	560	—	22.64

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年1月期第1四半期 24,832,857株 22年1月期 24,832,857株

② 期末自己株式数 23年1月期第1四半期 96,325株 22年1月期 95,405株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 23年1月期第1四半期 24,736,829株 22年1月期第1四半期 24,744,413株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提、その他の関連する事項については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3.連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成22年2月1日～平成22年4月30日）におけるわが国経済は、政府の景気対策の効果等により一部に持ち直しが見られたものの、雇用環境は未だ低迷しており、先行きの不透明感が払拭されない状況で推移しました。

当ディスプレイ業界の事業環境につきましては、企業の設備投資及び個人消費が本格的な回復に至らない中、引き続き、設備投資、店舗投資並びに販促関連投資抑制の傾向が強く、総じて厳しい状況が続いております。

このような状況のもと当グループは、収益構造の改善をはかり、さらなるコスト削減、業務の効率化に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は154億38百万円（前年同四半期比0.2%減）となったものの、営業利益は8億49百万円（前年同四半期比167.2%増）、経常利益は8億23百万円（前年同四半期比145.9%増）、四半期純利益は7億66百万円（前年同四半期比662.1%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（資産の部）

資産の部の合計額は、前連結会計年度末に比べて15.4%増加し、311億78百万円となりました。これは、主に現金預金が18億23百万円、受取手形・完成工事未収入金等が14億57百万円それぞれ増加したことによるものであります。

（負債の部）

負債の部の合計額は、前連結会計年度末に比べて17.7%増加し、216億89百万円となりました。これは、主に未成工事受入金が11億9百万円、長期借入金が18億75百万円それぞれ増加したことによるものであります。

（純資産の部）

純資産の部の合計額は、前連結会計年度末に比べて10.5%増加し、94億88百万円となりました。これは、主に四半期純利益の計上により利益剰余金が7億66百万円増加したことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想については、概ね予想通りに推移しており、平成22年3月19日に発表した業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

記載すべき重要な事項はありません。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

当第1四半期連結会計期間より「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を適用しており、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から工事進行基準を適用しております。なお、工事進行基準の適用要件を満たす工事契約が存在しないため、すべての工事について工事完成基準を適用しております。

従いまして、これにより損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年4月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	6,045,464	4,221,569
受取手形・完成工事未収入金等	9,034,777	7,577,578
未成工事支出金等	5,031,565	4,510,149
その他	660,037	528,430
貸倒引当金	△33,304	△24,563
流動資産合計	20,738,540	16,813,165
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,476,174	4,476,174
その他(純額)	1,650,733	1,654,842
有形固定資産計	6,126,907	6,131,016
無形固定資産	218,770	209,438
投資その他の資産		
その他	4,384,138	4,120,495
貸倒引当金	△290,093	△259,063
投資その他の資産計	4,094,044	3,861,431
固定資産合計	10,439,723	10,201,886
資産合計	31,178,264	27,015,051
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	7,293,408	6,393,042
短期借入金	4,960,000	5,395,000
未成工事受入金	2,674,720	1,565,377
工事損失引当金	376,497	276,771
その他の引当金	153,124	336,466
その他	1,485,827	1,683,193
流動負債合計	16,943,577	15,649,851
固定負債		
長期借入金	3,561,000	1,686,000
引当金	130,470	144,591
その他	1,054,605	945,632
固定負債合計	4,746,075	2,776,224
負債合計	21,689,652	18,426,075

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年4月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,026,750	4,026,750
資本剰余金	4,024,840	4,024,840
利益剰余金	1,145,761	379,228
自己株式	△39,646	△39,470
株主資本合計	9,157,705	8,391,349
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	331,545	201,065
為替換算調整勘定	△3,355	△5,751
評価・換算差額等合計	328,190	195,314
少数株主持分	2,715	2,311
純資産合計	9,488,611	8,588,975
負債純資産合計	31,178,264	27,015,051

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年2月1日 至平成21年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年2月1日 至平成22年4月30日)
売上高	15,475,961	15,438,755
売上原価	13,319,963	13,088,477
売上総利益	2,155,998	2,350,277
販売費及び一般管理費	1,838,021	1,500,768
営業利益	317,977	849,508
営業外収益		
仕入割引	11,306	16,022
投資有価証券割当益	—	20,888
その他	39,640	26,815
営業外収益合計	50,947	63,726
営業外費用		
支払利息	21,422	27,734
貸倒引当金繰入額	6,914	39,888
その他	5,880	22,464
営業外費用合計	34,217	90,086
経常利益	334,706	823,148
特別利益		
貸倒引当金戻入額	13,881	11,849
固定資産売却益	465	—
特別利益合計	14,347	11,849
特別損失		
特別退職金	126,603	—
債務保証損失引当金繰入額	46,000	—
固定資産除却損	—	2,808
その他	26,567	—
特別損失合計	199,170	2,808
税金等調整前四半期純利益	149,883	832,189
法人税、住民税及び事業税	16,788	58,937
法人税等調整額	36,445	6,315
法人税等合計	53,234	65,253
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3,926	403
四半期純利益	100,575	766,532

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。